



令和 4 年 10 月 2 日  
BELCA-YR-0006 (更新)

## 優良補修・改修工法等評価書 (更新)

株式会社 ホリ・コン 代表取締役 堀 宏一朗 様  
大和ライフネクスト株式会社 代表取締役 竹林 桂太郎 様

公益社団法人ロングライフビル推進協会の優良補修・改修工法等評価事業実施要領に基づき、次の工法について、「経済性」、「施工性」に関して「特に優れている (更新)」と評価する。

評価対象技術 : ハイブリッドクイック工法 (D'sハイブリッドクイック工法)

公益社団法人ロングライフビル推進協会  
会長 運輸 賢治

記

### 1. 技術の概要

建築物、土木工作物の仕上げタイル面もしくは下地モルタル面の浮き部の保全のため、コンクリート用ドリルビットを装着したMF-1ドリル (湿式超低騒音ドリル【ハイブリッド仕様】)にて、当該タイル面もしくは下地モルタル面を低騒音・低振動・無粉塵で孔内洗浄と並行しながら穿孔し、更には特殊ノズルを装着した手動樹脂注入器にてエポキシ樹脂を孔最深部より空気溜まりを発生させることなく確実に充填し、しかる後にキャップ付きステンレスピンにて当該タイル面もしくは下地モルタル面を拘束し、尚且つ空隙部に樹脂を拡散させて浮き部を固定する工法。

### 2. 適用範囲

タイル張り仕上げ壁 (大型タイルを除く) の構造体コンクリート表面に、手張り工法又は打ち込み工法によって仕上げられた壁仕上面で、タイル表面から構造体コンクリートまでの距離が、ステンレスピンの長さから30mm減じた数値以内であること。

### 3. 評価の結果

当該技術が「特に優れている」という評価を取得して概ね5年以上が経過しており、引き続き当該技術を用いた充分な使用実績があること、当該技術が当初評価申請後から性能の低下を及ぼす変更がないこと及び品質保証を適正に実施していることについて、当協会の優良補修・改修工法等評価委員会 (委員長:坂本 功:東京大学名誉教授)において慎重審議した結果 (令和4年9月30日付評価報告書BELCA-YRH-0006 (更新))、「特に優れている」と評価する。

### 4. 評価の前提及び評価の範囲

提出された資料には事実に反する記載がないものとする。また、評価は、依頼者より提出された提出資料により確認した範囲とする。

### 5. 評価の有効期間 2022年10月2日~2027年10月1日